

住環境のトータルサプライヤー

WA 環-Circle-

イノアック住環境 広報誌
Published by
INOAC Housing & Construction Materials

vol. 18

2026 April

特集:01

ザ・職人

— 施工開発部編 —

屈強な男たちの素顔

特集:02

小牛田事業所
をご紹介します!



ザ・職人

— 施工開発部編 —

屈強な男たちの素顔

職人シリーズ第2弾は、施工開発部です！
 施工開発部は土木工事を主に受け持つ**工事グループ**と建築の全てをサポートする**建築グループ**から成り立っています。
 日々、厳しい環境下で工事を遂行する彼らの素顔とは！

担当した現場
 K社 岐阜工場
 充填機設置に伴う配管工事



野村洋介
 のむら ようすけ

現場でここが大変でした…

工場のスレート屋根カバー工法の際、真夏での施工だったため、日差しが強く折板の照り返しもあり、施工に苦労しました。

この製品、ココに注目!

サーマックスの加工のし易さを見てほしい。

私のこだわり!

安全第一と納期を守ること。

元気の秘訣

睡眠時間をしっかり確保すること。

お客様へひとこと!

安全作業に努めて参ります。

現場でここが大変でした…

- ・既設工場建屋基礎の形が図面と異なっていたので施工計画を変更した
- ・季節外れの台風によって工程が大きく変動した
- ・舗装を剥いたら玉石だらけだった
- ・石綿含有物の解体撤去

この製品、ココに注目!

改修・修繕工事の場合は綺麗に使いやすくなること。

私のこだわり!

施主の要望を満たしているか、要望+αで景観・使用感の配慮。

元気の秘訣

よく食べること、こどもと遊ぶこと、適度に力を抜くこと、適度な運動をすること。

お客様へひとこと!

建屋や設備の新設改修補修解体撤去など困りごとはお気軽にご相談ください。



境政紀
 さかい まさのり

担当した現場
 八名工場 発泡機室建築工事 工事監理
 吉良工場 危険物庫建築工事 工事監理
 太陽理化学工場 屋根及び壁カバー工事 工事監理 など

現場でここが大変でした…

自分が経験したことのない工事を施工する際に、工事の段取りや進め方、材料や専門用語が分からないため、お客様への説明や業者さんへの指示が上手くできなかったこと、分からないことは業者さんに教えてもらったり、自分で調べたりしています。

この製品、ココに注目!

イノアック住環境は住宅、建築、土木、環境関連などの分野で幅広く使用できる製品が揃っています。全ての製品に注目です。

私のこだわり!

現場では安全管理や品質管理、お客さんや下請業者とのコミュニケーションに気を付けています。

元気の秘訣

バランスの取れた食事、十分な睡眠、適切な運動。

お客様へひとこと!

建築グループは建材工事、建築建屋から外構工事、土木工事、工場設備関連工事全般を行っており、プランニングから建設・保守・保全までをトータルでサポートすることができます。施設に関するお困りごとがあれば、まずお気軽にご相談ください。



泉谷健太
 いずたに けんた

担当した現場
 新城工場 L型擁壁工事
 新築建屋工事
 屋根カバー工事

担当した現場
 神奈川県 矢向橋
 橋梁下部ウレタン充填工事
 広島県 加茂油木線
 現場発泡ウレタン工事
 福岡県 教育大前駅
 プラントホーム下部ウレタン充填工事



田中久詞
 たなか ひさし

現場でここが大変でした…

天候に影響を受け、施工が計画通りに進まないことがあるので、現場で元請や協力会社と相談し、計画を変更しながら施工を進めていくこと。

この製品、ココに注目!

現場発泡ウレタンの軽量盛土によって、災害などにより崩壊した道路を施工している。盛土以外にも老朽化した栈橋やトンネルなどの空洞充填の維持補修工事をしている。

私のこだわり!

ルールを守り安全作業で現場を完了させる。求められる品質を確保するよう管理する。

元気の秘訣

現場でたくさん動いて、たくさん食べること。

お客様へひとこと!

安全作業、品質確保を守り施工管理をしています。

担当した現場
 岩手県のいけす工事
 バイブの切断融着作業
 能登半島地震災害復旧工事
 自動車専用道路の軽量盛土工事に関する作業
 故染ダム落石充填工事
 落石群のウレタン隙間充填及び被覆吹付作業



竹本絃大
 たけもと ひると

現場でここが大変でした…

能登半島の災害復旧現場では、震災発生後1ヶ月程度で現場へ乗り込んだため宿泊先から現場への通勤道が寸断されていたり、激しく起伏している箇所が多く運転するだけでも苦労しました。また、スーパーやコンビニが営業していない等の町全体が正常に機能していなかったため、現場での業務も大変でしたが、業務以外で精神的にも疲弊することが多い現場でした。

この製品、ココに注目!

軽量盛土工事に使用されるウレタンはその名の通り軽量であるため、普段使用している道路のみならず、橋梁充填や山間部の法面充填などでも使用されています。過去の施工事例等を見れば分かると思うので、是非調べていただければと思います。

私のこだわり!

私が盛土工事に従事する際には、現状だと仕上げと呼ばれる工程を担当すること多いのですが、最終的にお客様の目に入る箇所の施工をすることになるので極力満足いただけるように、品質保持は当然として、見た目も美しく仕上げられるように尽力しています。

元気の秘訣

現場ではなるべく大きい声を出すことで、本当はあまり元気がなくてもあるように見せることができるのでオススメです。

お客様へひとこと!

安全第一、品質第二で施工させていただきます。

現場でここが大変でした…

充填作業中の充填内部の暑さが大変だった。

この製品、ココに注目!

完成すると見えなくなるがウレタンの仕上がり面を見てほしい。

私のこだわり!

水の流入は品質を損なう恐れがあるので水の除去、流入等には注意して作業を行っている。

元気の秘訣

しっかり食事をとる事。

お客様へひとこと!

各現場きっちりと工事を完了しますのでぜひよろしくお願ひします。



南彰範
 みなみ あきのり

担当した現場
 青ヶ島循環線の軽量盛土工事

どんな職人になりたい?

先輩方のようにどんな工事でも完璧にやり遂げられるような職人になりたいです。

私の目標

資格習得や技術向上に努めて自分の価値を高めていきたいです。



新美慶太
 にいみ けいた

どんな職人になりたい?

盛土工事といえば? 松下でしようと言われるくらい信用のある職人になりたいです。

私の目標

まずは、安全第一で作業に努めます、そのうえで、知識やスキル高めていきたいです。



松下徹哉
 まつした てつや



第5回 イノアック住環境 小牛田事業所

宮城県遠田郡美里町北浦浦田上218

小牛田事業所では、東北エリアを中心として全国へ向け、特殊配管をはじめとした各種製品の製造・出荷を行っています。私たちは常にお客様の立場に立ったものづくりを心がけ、品質向上と安定供給に取り組んでいます。



小牛田事業所工場長 小関 学

ポリエチレン管から特殊配管まで、 全国へ届けるインフラ製造拠点



水道用ポリエチレン二層管を始め、一般用ポリエチレン管、高圧管のほか、ブロードパイプ、地中熱交換用パイプ「U-ポリパイ」、温泉パイプ、宮城県グリーン製品にも登録されている暗渠集排水管を製造しています。小牛田工場はポリエチレンパイプがメインの工場となっています。

また、エンジ部インフラG製品のデポも実施しており、温泉などの高温流体配管として使用されるホットベックスやアイポリガードなどの海外品の仕入れ・加工・出荷を行っています。さらに、若柳HCではヒートフレックスのデポ化を開始し、全国へ向けて製品を出荷しています。

※詳しくはPickup News(P06)に若柳HCに関して掲載しておりますので是非ご覧ください。

小牛田事業所沿革

- 1978 水道用及び一般用ポリエチレン管生産開始
- 1992 東北イノアック第三工場建設 住設製造課移設
- 1992 温泉パイプ生産開始
- 2004 地中熱交換システム用パイプ「U-ポリパイ」生産開始(日本初)
- 2005 キズ防止管「水道用ポリエチレン被覆管」生産開始
- 2006 橋梁添架管・凍結防止複合管「アイポリガード」発売開始
- 2008 イノアック住環境設立 東北イノアック住環境部門直営化

- 2010 湯送用架橋ポリエチレン管「ホットベックス」発売
- 2012 高性能ポリエチレン二層管「アイポリブロードパイプ」生産開始
- 2020 NEDO委託業務先として「扁平U-ポリパイ」を開発
- 2021 水道用ポリエチレン二層管「ダントツライン」導入
- 2022 水道用ポリエチレン3種二層管生産開始
- 2024 湯送用架橋ポリエチレン管「ヒートフレックス」販売
- 2025 若柳配送センター新設

美里町って、どんなところ？



2021年の「東北デスティネーションキャンペーン」では、陸羽東線で「SL東北DC陸羽東線号」(D51 498牽引)が特別運行され、8年ぶりにSLの煙が同線を彩りました。2026年4月～6月開催の「ふくしまデスティネーションキャンペーン」でも、磐越西線等でSLやレトロ列車の運行が予定されています。

宮城県遠田郡美里町(みさとまち)は、2006年に小牛田町と南郷町が合併して誕生した、人口約2.3万人の町です。仙台市から約40kmに位置し、JR東北本線、陸羽東線、石巻線が交差する交通の要衝で、平坦な田園地帯が広がる「宮城県の食糧基地」として農業が盛んです。



江戸時代の宿場町として栄えた美里町は、小牛田地区を中心に歴史的建造物や山神社などの史跡が多く残る文化豊かな町です。



大崎平野の平坦な地形で豊かな水源に恵まれ、面積の約7割が農地。稲作を中心に、トマトや梨の栽培が盛んな農業の町です。



古くから崇敬される山神社の深い森や、伝統的な農村風景が広がる「でんえん土田畑村」など多彩な景観が魅力です。

注目トピックス

01 生産設備の自動化推進「ダントツライン」

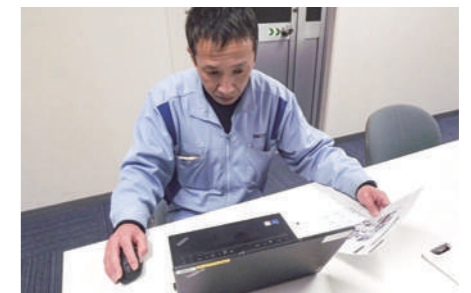
2021年に水道管生産用の最新設備「ダントツライン」を導入しました。このラインは内外層の吐出バランス、全体吐出量をサイズ毎に最適に自動で行い、今まで人が調整していた経験的な部分を機械が実施しています。現在自動巻取、結束、積み上げ機が導入され更なる自動化に向け取り組んでいます。

02 全員で取り組む「安全・品質」への挑戦

常に「安全第一」「品質第一」を念頭に業務にあたっています。そのために、製造部門単体ではなく、品質保証、生産管理、技術部門とも連携し、問題改善や安全改善に取り組んでいます。チームワークの良さは小牛田事業所の強みです。また、製造メンバー一人ひとりのモノづくりに対する姿勢も素晴らしく、私自身も見習うべき点が多くある、信頼できるメンバーばかりです。生産性向上を目的とした自動化では、前述しました「ダントツライン」が挙げられます。また、「QC活動」を実施することにより、一人ひとりの改善意欲が高まり、工程改善や作業改善に取り組むことで、着実に成果をあげています。

03 基本の徹底で築く「揺るぎない品質」へのこだわり

「同じ品質のものをいつでも同じように作れるようにする」を念頭に、品質確認、工程確認を実施し変化点がないかをチェックしています。作業の方も、都度問題点を打ち上げてくれるので大変助かっています。また、「止める・呼ぶ・待つ」「決める・守る・確かめる」が確実に実施できる職場をめざしており、リスクアセスメントによる危険源の対策や手順書の再教育を毎月実施、記載不足部の整備を進めているところです。小牛田事業所は品質保証を含めても十数名という少人数の組織であるため、チームワークを重視して生産活動に当たることが大切だと常に考え、日々の業務に励んでいます。



小牛田生産 取扱製品紹介



U-ポリパイ(JIS品:青、ISO品:黒)

一般用ポリエチレン管

水道用ポリエチレン二層管

アイポリブロードパイプ(単層管、二層管)

温泉パイプIOP

ホットベックス

ヒートフレックス

Pickup News



2025 12月

日比野本社にフィリピンのパートナー企業の方が来社

昨年末、INOACグループと協力関係にあるフィリピン企業の責任者の方が、日比野本社にお越しくださいました。特に弊社の現場発泡ウレタン盛土工法に深い関心を持たれ、試験施工所の視察や模型を用いた説明では、熱心に耳を傾けられ終始活発な意見交換が行われました。「自社で新工法を確立し市場に認められるには何が必要か」「フィリピンでどのように展開できるか」といった高い視座からのご質問もいただき、私たちにとっても大変刺激的な機会となりました。今回の視察を通して、弊社海外部も多くの学びと気づきを得ており、今後さらに国際展開を強めてまいります。



2025 11月

若柳HC 新配送センターができました!

宮城県東北イノアック若柳工場内に大型製品の配送機能を強化した「若柳配送センター」が新設されました。温泉水管やHeat Flexを中心に取り扱い、全国への配送に対応しております。本センターは、BCP対策として「どんな状況下でもお客様に製品をお届けしたい」という思いから設立されたものです。寒冷地エリアへの効率的な配送が大きな特徴で、これまで以上にスムーズにお客様へ製品をお届けできる体制が整いました。今後も物流ネットワークを最大限に活用し、全国のお客様にご満足いただけるよう、物流関係者一同全力で対応してまいります。



2025 12/4.5

建築技術フェアに出展いたしました

ポर्टメッセなごやで開催された「建設技術フェア2025 in 中部」に出展しました。本展示会は、DX・i-Construction、防災・安全安心、設計・施工など多分野にわたる最新技術が紹介される展示会です。当社は「維持管理・予防保全」の分野において、岐阜大学工学部社会基盤工学科様および丸ス産業株式会社様と共同で研究開発を進めている、現場発泡ウレタンを用いた「落石発生源PUR工法」を紹介しました。模型展示やウレタン発泡の実演は特に好評を博し、多くの来場者に高い関心を寄せていただきました。今後も技術の発展と社会への貢献を目指してまいります。



2026 1/28-30

エネルギーイノベーション総合展に出展いたしました

東京ビッグサイトで開催された「ENEX2026 第50回 地球環境とエネルギーの調和展」に出展しました。本展示会は、社会実装を目指す革新的な省エネ技術や研究成果、GX・DXを活用したエネルギー管理システム、脱炭素支援サービスなどが一堂に会する国内有数の専門展です。弊社は、工場や施設の省エネを推進する熱ソリューションとして、「地中熱交換パイプU-ポリパイ」「浅層利用熱交換器スパイラルピラー」「ヒートパイル工法」「地熱トルネード工法」を出展しました。特にU-ポリパイは、地中熱を有効活用する環境配慮型製品として、カーボンニュートラル実現に向け注目を集めました。多くの方にご来場いただき、弊社の技術を知っていただく貴重な機会となりました。



2025 11/9

いびがわマラソンに社員出場

揖斐川町の秋の一大イベントである、毎年恒例の「いびがわマラソン」に、当社社員がランナーとして参加しました。スタート地点および大会本部が揖斐川工場の近隣にあることから、当社は毎年協賛という形で大会運営に貢献しています。今回はハーフマラソンに4名、ウォーキングに1名の社員が参加しました。当日はあいにくの雨天となりましたが、全員が無事に完走しました。沿道で応援してくれた社員や地域住民の皆様、ボランティアの方々の温かさを感じることができ、地域とのつながりを改めて実感する大会となりました。

広報スタッフの一言

- **スタッフW** 施工開発部は「建築」と「工事」から成る…2頭の龍で皆様を護る! というイメージが浮かび、新人君はタツノオトシゴで。本当に施工開発部の方々は40℃を超える屋根の下で工事やハーネスを使った斜面の吹付作業、最低片道2日はかかる作業現場など過酷な現場が多いのに、皆さん、事務所にいるときは声も小さくほんわかしてるんです。が、しかし。いざ現場へ赴けば、デカイ声を張り上げ、ドラム缶を運び、手足のようにフォークリフトを操る…踊る大胸筋! 滾る僧帽筋! 「はたらく筋肉」、めっちゃカッコイイです!!
- **スタッフT** 今回の小牛田事業所紹介、如何だったでしょうか。水道用ポリエチレン管を始め、U-ポリパイやブロードパイプなど、小牛田事業所が多くの給水管・インフラ製品の拠点であることや、工場のモノづくりの姿勢が伝わる内容になったと思います。今回までに紹介をした事業所それぞれの雰囲気、少しでも皆さんに伝わっていたら嬉しいです。
- **スタッフH** Pickup Newsに掲載されている「いびがわマラソン」にランナーとして参加してきました! 初のハーフマラソンにもかかわらず、天気には恵まれなかったのは残念ですが楽しかったです。次こそは晴れの日チャレンジしたいです。

樹脂製 雨水貯留浸透施設 サポートPUR工法

樹脂貯留槽の課題(クリープ変形)を
解消できる工法

特長

1 軽量

密度36kg/m³と土砂に比べ約1/50の超軽量であり、さらに強度も十分あります。

2 耐薬品性に優れている

特にガソリン、軽油、亜硫酸等に溶けません。

3 水を通さない

独立気泡構造となっているため、水の侵入に対し抵抗力が強く物性変化が生じません。

R-PUR
工法

1 現場発泡にて施工

そのため、現場に応じた自由な形状施工が可能。

2 施工ヤードが小さい

4t車ですべて搭載することが可能。

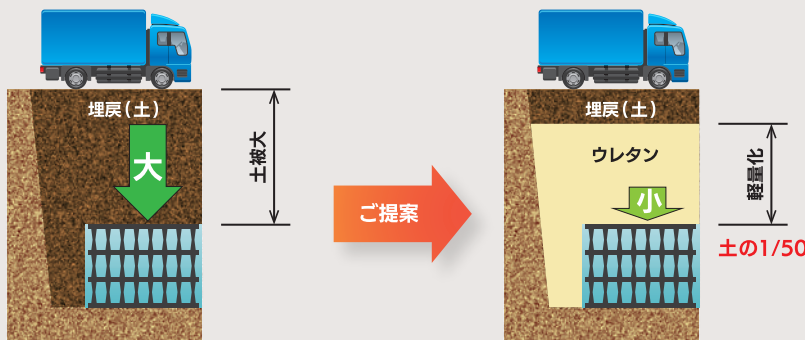
3 スピーディな施工

転圧や養生が不要

※「JWWA K 143」の基準値を下回る(水道施設でも使用可能)

※「建築技術審査証明報告書」を取得

用途



上載荷重が過大となり樹脂貯水槽が圧縮変形する恐れがあるため、上載土をウレタンに置き換え樹脂貯水槽に与える荷重を最小限とする。



R-PUR工法は自己接着効果により一体化し自立するため、転圧時の偏土圧や常時土圧が樹脂貯水槽に作用することによる変形がなくなり安全である。

施工実績

建屋近接対策



側方土圧軽減対策

